

NECの歴史 — 価値創造の軌跡

NECは1899年の創業以来、情報通信技術 (ICT) により社会のインフラやミッションクリティカルなシステムを支えることで豊かな社会の実現に貢献し、成長を続けてきました。これからも「ベタープロダクツ・ベターサービス」の精神のもと、テクノロジーで社会に変革をもたらす存在として新たな価値創造への挑戦を続けていきます。

🌐 NECの歴史の詳細は、下記Webサイトをご参照ください。
<https://jpn.nec.com/profile/corp/history.html>

1899年

第1の創業

1977年

第2の創業

2013年

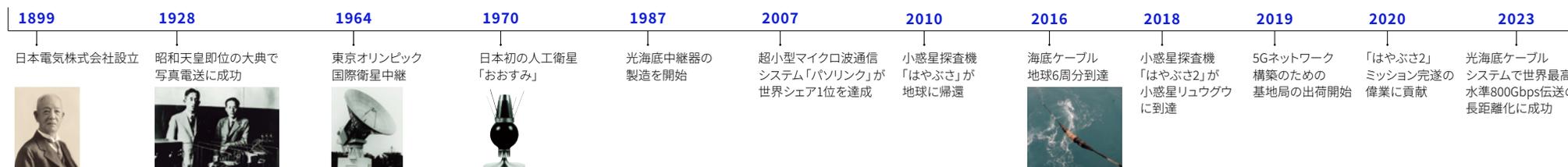
第3の創業

「ベタープロダクツ・ベターサービス」

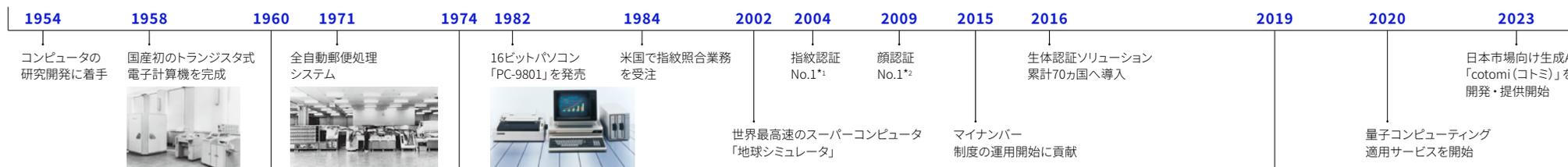
C&C宣言：
コンピュータと通信の融合

社会価値創造型企業への変革

社会インフラ



ITサービス



*1 米国立標準技術研究所 (NIST) 主催のベンチマークテストでNo.1の評価を獲得

*2 NISTによる顔認証ベンチマークテストでこれまでにNo.1を複数回獲得

※ NISTによる評価結果は米国政府による特定のシステム、製品、サービス、企業を推奨するものではありません。

🌐 <https://jpn.nec.com/biometrics/index.html>

NECの歴史 — 「変わり続けることを、変えない」

NECが将来にわたり価値を創造し続けるためには、社会の激しい変化に負けないスピードで、自らを変革し続けることが大切です。

特に、社会価値創造型企業としての変革を掲げて以降、ポートフォリオの見直しを加速するとともに、収益性向上と戦略実行力強化のため組織と文化の変革に取り組んできました。引き続き変革の手を緩めることなく取り組んでいきます。

ポートフォリオの見直し

主な取得事業

Northgate Public Services (英国) (現NEC Software Solutions UK)	2018年	Avaloq (スイス)	2020年
KMD Holding (デンマーク)	2019年	NECネットエスアイ (株) (100%子会社化)	2025年

主な売却、撤退事業*1

半導体事業	2010年	ディスプレイ事業	2020年
PC事業	2011年	エネルギー事業	2021年
インターネットサービス事業 (Biglobe)	2014年	パソリンク事業	2023年
携帯電話事業	2016年	日本航空電子工業 (株)	2024年

*1 非連結化した主な事業

収益性改善 + 実行力強化のための組織、文化の変革

2020中期経営計画

- 継続的に営業利益率5%を実現するための収益構造改革
- 収益構造の改革
 - 成長の実現
 - 実行力の改革 (=組織、文化の変革)

2025中期経営計画

- Purposeに向け、「戦略」と「文化」の両面で目標設定
- 戦略：EBITDA成長率 年平均9%
(成長事業への注力、低収益事業の見直し)
 - 文化：エンゲージメントスコア 50%以上

組織、文化の変革における取り組み

- 特別転進支援施策
- NEC Wayの改定、浸透
- 役員の委任契約
- 外部人材登用
- ワークスタイル改革
- CEOによる月次Town Hall Meeting
- ジョブ型人事制度
- コーポレート・ガバナンスの継続強化

売上収益と営業利益*2の推移



*2 2014年度以前は日本会計基準 (JGAAP)、2015年度以降は国際会計基準 (IFRS)